

公開実用 昭和61-145664

BEST AVAILABLE COPY

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-145664

⑤ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)9月8日

B 41 K 1/10

6951-2C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 簡易型回転印

⑯ 実 願 昭60-29054

⑰ 出 願 昭60(1985)2月28日

⑱ 考 案 者	小 谷	洋 子	大阪市東区玉造1丁目2番28号	三田工業株式会社内
⑲ 考 案 者	川 上	善 信	大阪市東区玉造1丁目2番28号	三田工業株式会社内
⑳ 出 願 人	三田工業株式会社		大阪市東区玉造1丁目2番28号	

明 細 書

1. 考案の名称

簡易型回転印

2. 実用新案登録請求の範囲

略門字状の支持棒中央部に架橋された軸には複数の印字変更ダイヤルを有し、同じく支持棒の先端部には受け金具を架橋し、該金具と前記ダイヤルに無端状印字ベルトを支承して成る変更可能印字部と、固定輪郭印字部を備えた輪郭印字棒体とを有し、該印字棒体と前記支持棒とを摺動自在に取付けると共に、支持棒外側面に有する凸部と輪郭印字棒体内側面に有する凸部との間にバネ部材を取り付け、該バネ部材の付勢力により印字時のみ変更印字部と輪郭印字部とが略同一平面となり印字面を形成することを特徴とする簡易型回転印。

3. 考案の詳細な説明

(考案の技術分野)

本考案は、無端状印字ベルトを有する回転印に関するものであり、より詳細には印字文字の

701

変更が極めて容易に行なえる簡易型の回転印に関する。

(従来技術)

日付印で代表される小型で簡易な回転印は第4図で示すような構造をしている。そして日付を変更するために日付変更ダイヤル13を回転し、無端状印字ベルト21を回転させるには、主枠体61の一側面に回転可能な状態で取り付けられた輪郭印字部27を有する輪郭印字枠体63を開き、印字ベルト21の日付印字部15を解放状態にした後でなければ、日付印字部15が輪郭印字部27の中央印字開口65に束縛されているため不可能であった。

従って、この様な場合、上述したような操作が日々要求され非常に煩わしいばかりではなく、時として輪郭印字部27に塗布されたインキにより手を汚すといった問題もあった。

更にまた、前述した操作を頻繁に行う場合には、日付印字部15及び輪郭印字部27が共に可動するものであるため、印字面としての両印字部

15及び27の位置関係がずれ、輪郭のみが或いは又日付部のみしか鮮明に印字されないという問題も有していた。このずれの問題に対しては、第5図に示したような機構にて対処していた。即ち、把手3に組み込まれた固定ナット66を解除し、位置調節ナット67を位置調節ダイヤル69の回転操作にて回転させ、主枠体61と支持枠9との位置関係を支持枠9に固定されたネジ25にて調節しようとする機構にて対処していた。しかしてこの調節操作も非常に煩わしいものであった。

(考案の目的)

しかして、本考案は上述した種々の問題点を解決することを目的とするものである。即ち、本考案の第1の目的は日付け等の印字部の変更の際して輪郭印字枠体の開閉操作を必要としない簡易型回転印を提供することにある。

本考案の第2の目的は、日付等の印字部の変更の際に印字部に塗布されたインキにより手を汚すおそれの全く無い簡易型回転印を提供する

ことにある。

本考案の第3の目的は、繰り返し使用においても日付け印字部と輪郭印字部との位置調節を何等必要とせず常に安定した押印が可能な簡易型回転印を提供することにある。

(考案の構成)

本考案を以下の図面に従って、説明する。

第1図は本考案に係る簡易型回転印の一具体例を示す日付け印について、その構成を説明するための断面図である。全体として1で示す日付け印は把手3と日付け印字本体5及び輪郭印字枠体7から成っている。

まず日付け印字本体5から説明する。略円字状の支持枠9の中央部に架橋された軸11には回転可能に年、月、日の数字を夫々変更する印字変更ダイヤル13が取り付けられている。同じく支持枠9の先端部には日付け印字部15を設けるべく受け金具17を架橋し、この金具17と前記ダイヤル13に表面を印字19を有する無端状印字ベルト21を支承している。そしてこの支持枠9は、

両側面にダイヤル13が臨出するように溝23を有した覆金具でおおわれ日付印字本体5を構成している。

この印字本体5の頂部には把手3がネジ25で取り付けられている。

次いで輪郭印字枠体7について説明すると、輪郭印字枠体7には、日付印字部15の周面にあつて氏及びまたは部課名を刻印した輪郭印字部27を台座29を介して取り付けしている。

本考案は上述した印字本体5と印字枠体7とを、従来とは全く異なった位置関係で摺動自在に取り付けたことが重要な特徴の一つである。即ち、従来においては、平常時或いは使用時において日付け印字部と輪郭印字部とが同一平面内に位置するように位置規制し、日付変更時において輪郭印字枠体を回転解放あるいは摺動解放して印字ダイヤルを回転させるというものであった。これに対して本考案は、平常時印字変更ダイヤル13を調節可能な状態で印字枠体7を印字本体5に摺動自在に取り付け、押印時にお



いてのみ両印字部15,27 が同一平面に位置付けることを特徴としている。

従って、印字本体5と印字枠体7とは以下のような構造にて摺動自在でかつ平常時に印字本体5の印字部15が印字枠体7の内部に収納された状態を取り付ける必要がある。係る機構としては、第1図及び第2図に示したように、印字本体5の両側面端部に突出部31を設け、また当該側面に面した印字枠体7の端部にも、同様の突出部33を設け、両突出部31,33の間に引張コイルバネ35を取り付ける。この機構により、押印時に当該バネ35を引張しながら印字本体5が印字枠体内部を移動し、日付印字部15と輪郭印字部27とが同一平面となった状態で押印され、押印後は、付勢されたバネ35の復元力により元の状態にもどることが可能となる。

この印字本体5と印字枠体7との摺動機構についてもう少し説明すると、印字本体5の突出部31はその先端形状を第2図に示されているように略T字状とし中央部の孔37にバネ35を張架

706

し、T字状先端部は印字枠体7内側面に設けられた溝部材39に係合させ、該部材39の溝41に沿って摺動させる。また印字枠体7の突出部33についても前記突出部31と同一形状として同じく溝部材43を印字本体5の側面に取り付けて摺動機構とする。

従って、上述した具体例のように印字本体5、印字枠体7及び摺動機構を備えることで、常時印字変更可能となり、しかも押印時において従来通りの印字面を形成することが可能となる。

本考案のより好適な態様としては、印字部15を第3図に示したものを提示することができる。この態様は、略U字状の受け金具51を第1図に示した態様とは異なり、固定せずに、支持枠9の両先端部を橋絡固定させて取り付けした橋絡金具53に対し弾性ゴム等の弾性部材55を介して無端状印字ベルト21の張力により挾持する。かかる構成により押印時に印字部15自体も変位可能となる。従って、弾性部材55の弾性強度を選択することで、摺動する輪郭印字部27と印字部15



との押圧力を等しくし、より均一で良質な印字が可能となる。

以上詳述したように、本考案によれば簡易な構成で常時印字部変更自在の状態に保持し、押印時のみ輪郭印字部と協合して印字面を形成することができ、印字変更の際の煩わしい操作を少なくし、しかも手を汚さず行うことができるものであり、日付及び輪郭の両印字の位置関係がずれることによる印字ミスも全く解消できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の回転印を示す一部断面図、

第2図は本考案の回転印に用いる摺動機構を示す断面図、

第3図は本考案の回転印に好適に適用される印字部断面図、

第4図は従来例としての回転印を示す斜視図、および第5図は、従来例としての回転印に適用されている印字部位置調節機構を示す模式図である。

図中引照数字は以下の内容を示す。

708

公開実用 昭和61- 145664

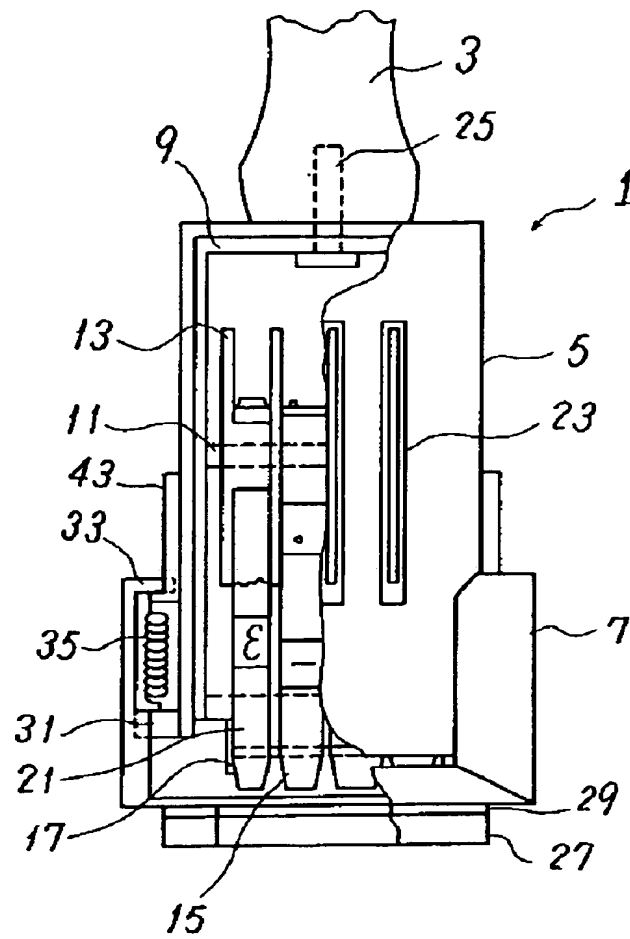
3 . . . 把手 5 . . . 印字本体
7 . . . 輪郭印字枠体 9 . . . 支持枠
13 . . . 印字変更ダイヤル 15 . . . 印字部
21 . . . 無端状印字ベルト
27 . . . 輪郭印字部 35 . . . バネ
51 . . . 受け金具

実用新案登録出願人

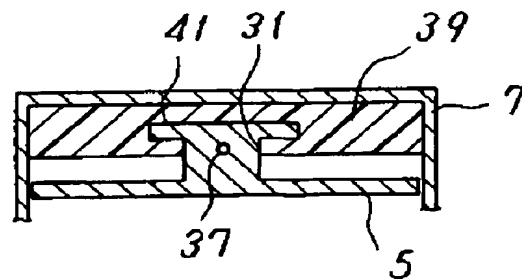
三田工業株式会社

709

第 1 図



第 2 図

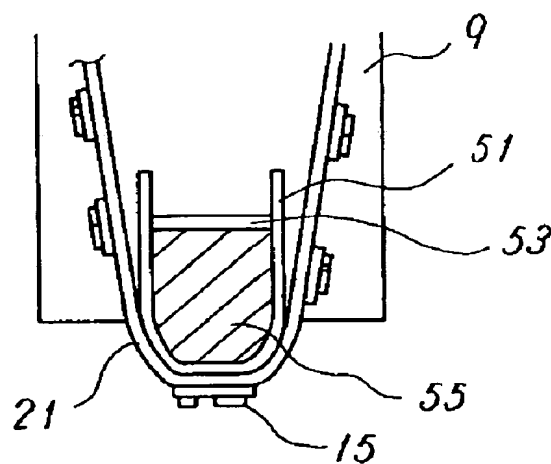


710

實用新案登録出願人 三田工業株式会社

特開 61 145664

第 3 図



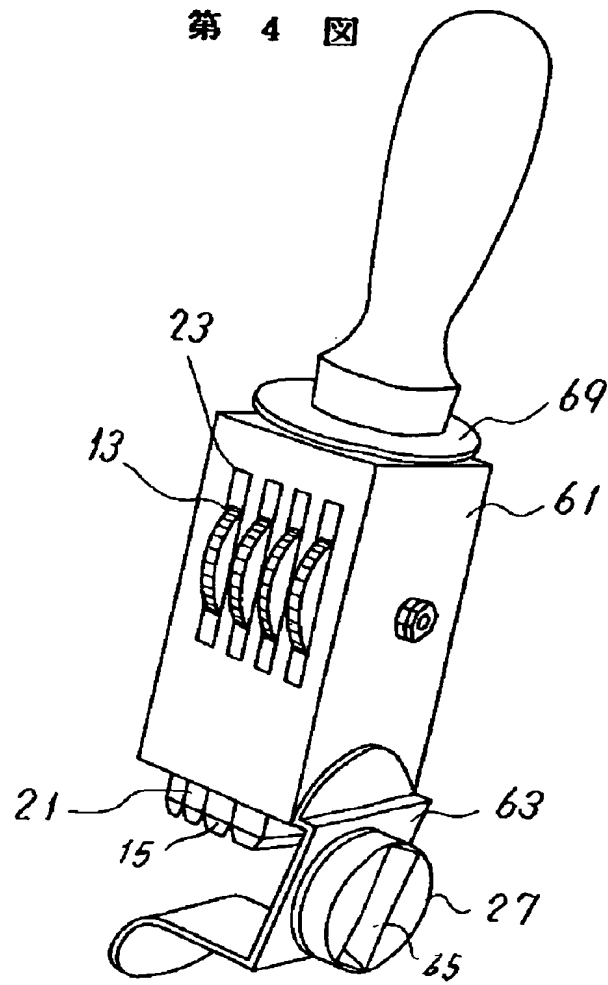
711

実用新案登録出願人

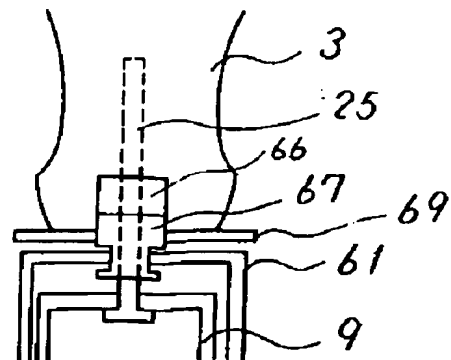
三田工業株式会社

実開 61-145664

第 4 図



第 5 図



712

實用新案登録出願人

三田工業株式会社

昭和 11 年 11 月 1 日

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.